



ピンボケ会

「街角アート」 撮影 / 池田 美佐子

6月9日 | 青少年育成の活動に役立てて図書等に
飯塚ロータリークラブが桂川町役場に寄附

飯塚ロータリークラブが青少年育成の為に役立ててもらおうと、桂川町・飯塚市・嘉麻市に寄付をおこない井上町長を表敬訪問しました。飯塚ロータリークラブ清水修治会長は「コロナウイルスで先の見えないこの状況に、私たちが何かできることはないかと考え、寄付を思いつきました。有効に活用していただき、この難局を共に乗り越えましょう」と力強く話しました。井上町長は「本当にありがたい。この寄附金を活用し青少年育成の為、一致団結して取り組んでいきたい」と話しました。



▲寄附金を井上町長に手渡す飯塚ロータリークラブ清水会長【写真中央右】
青少年奉仕委員長 田代 健次さん【写真左】永松 一浩幹事【写真右】



編集*後記
Editorial Postscript

▶「おもてなし」から「おもいやり」へ
今月の巻頭では、新型コロナウイルスに感染拡大防止に伴う「新しい生活様式」（関連記事2P）についての記事を掲載しました。緊急事態宣言も解除され、少しずつ「日常」を取り戻しつつありますが、今後は「ウイルスとの共生」が一番重要な課題になってくるのではないかと考えられます。是非、ご一読いただき、感染予防に丸となり取り組んでいきましょう。
新型コロナウイルスの影響で、東京オリンピックも延期となり、日本の「おもてなし」を世界の人々に提供することは、少し先延ばしとなりました。しかし、今大切なことは、「おもてなし」よりも「おもいやり」ではないでしょうか。日本人は相手を「おもいやる」気持ちでこの新型コロナウイルスの感染拡大を最小限に留めることができているのだと私は思います。「おもいやり」の気持ちを持って行動し、自分も大切な人もコロナウイルスから守りましょう。そして、世界が日本は安心・安全だという事を十分認識した後に、東京オリンピックで「おもてなし」を思う存分提供することができれば素晴らしい未来が待っているはずですよ。「おもいやり」と「おもてなし」で明るい未来へとつないでいきましょう。（上田 耕太郎）

俳句会

（五月例会）
大庭土筆選

※新型コロナウイルス感染防止の為
句会は中止。郵送による選句。

特選

糠床の機嫌伺ふ五月闇
ねかどこ さつきやみ

原口 孝子

古茶のこく終りの一滴までしぼる
こちや 花田ムツ子

花田ムツ子

本選

梵鐘や一山一寺山法師
ぼんしょう やまぼうし

野上マチ子

コロナ禍や「疎開」の過ぎる五月闇
か そかい さつきやみ

畑江 秀文

短歌会

（六月例会）

藤村 学選

手縫いマスク送り返る畑の道マスクを外し深呼吸する

木原トシ子

恐ろしき新型コロナに怯えつつ今日は笑いのビデオに見入る

神崎 鈴子

腰振って（日向ひよつとこ）踊れるになんと難しその見せどころ

藤川 峯男

入学式終へてコロナ禍休校の曾孫はひたすらひらがなを書く

原 哲子

白内障術後の顔をしみじみと我ながむるにしみが目につく

金田トシ子